

選手への伝達事項

2026.1.15

- 1 競技規則は、最新版SAJルールブックによります。ただし、本大会のルールを優先します。
レースは1本競技とします。
- 2 計時の方法
計時は電気計時と手動計時の2系統で行います。
- 3 スタート方法について
 - ① GSLのスタートは、10秒前の音信の後、5・4・3・2・1のカウントがあり、それから高音の発信音でスタートして下さい。
 - ② ストックは、定位置に突いてスタートし、ストックの二度突きは行なわないで下さい。
 - ③ スタート間隔は、男女ともGSLは30秒として行います。
 - ④ 棄権(DS)があれば繰り上げスタートとします。
- 4 コースインスペクションの方法について
 - ① 当日の出場競技者、監督及びコーチに限り示された時間に行うこととして、スキーは必ず着用して下さい。
 - ② GSLは上から下へ、旗門の中を滑らず、ゲートをクロスしている個所は、外からインスペクションしてコースを荒さないよう最大の協力をお願いします。
この際、フィニッシュラインの通過、コビー滑走、旗門中でのターン滑走は、禁止します。
 - ③ 出場者は、必ずセッケンが明らかに見えるよう着用して下さい。
- 5 インスペクション及び競技開始について
別紙のタイムスケジュールを参照して下さい。
- 6 公式掲示について
 - ① レストハウス内に仮発表掲示板を設置し、非公式発表をします。
 - ② 旗門不通過による失格は、掲示板に表示します。
 - ③ タイムについては、放送によっての発表も併用します。
 - ④ 公式掲示の切り替え時間は、各組競技終了後放送と掲示板で発表します。
 - ⑤ 公式掲示板は、レストハウス内に掲示します。
- 7 抗議再レース等について
 - ① 抗議は、公式掲示及び失格公示後、15分以内とします。
 - ② 再レースについて
役員の不手際や観衆、競技者(本人以外)、動物等の為に競技を妨げられた事による再レースの要求は、直ちにレースを中断し、近くの旗門員等にアピールして下さい。
(追い抜かれた競技者の抗議は認めません)
- 8 競技上の注意
 - ① 選手は必ず本大会のビブを着用し、いかなる場合も他のビブを使用しての出場は、失格とします。
 - ② 競技中は、コース内の立ち入りを一切禁止します。
 - ③ スタート位置における点呼は、5分前に行います。
 - ④ 旗門不通過により明らかに失格となった競技者は、その後の旗門を滑らないで下さい。
 - ⑤ 途中棄権者は旗門審判役員等にはっきりと意思表示をし、ビブを外してコース外に出て下さい。
 - ⑥ 出場者はクラッシュヘルメットを義務付ける。
 - ⑦ 競技中、転回等によりスキーが完全に停止した場合、その後の競技継続を禁止する。
 - ⑧ 追い抜かれそうになったら競技者は、呼び掛け又は合図に応じ直ちにコースを譲って下さい。
- 9 コース整備について
競技中に随時整備を行いますが、特に必要と思われる時は、中断して整備する事が有ります。(この場合放送で連絡します)
- 10 気象観測について
スタート地点、フィニッシュ地点の2箇所で行い放送でお知らせします。
- 11 競技開始時間の変更について
悪天候及びその他特別な事情が生じた場合、変更する事があります。その場合はその都度放送で連絡します。
- 12 前走者について
 - ① 前走者3名程度とし、コースの状況により加減します。
 - ② スタートは競技開始5分前を目途とします。
- 13 その他の協力要請
 - ① スタート、フィニッシュエリアには立ち入らないで下さい。
 - ② スタートハウス内に示された線からは、監督、コーチの出入りを禁止します。
 - ③ スキーを保護してきたビニールカバー等ごみ類は、各自でお持ち帰りください。
- 14 その他
 - ① 連絡事項
GSLサポートは、スタート付近で待機し、競技中断中に指示により降りてください。
 - ② スノーセメントの使用について
コース状況により、スノーセメントを使用する場合があります。
 - ③ ゲートはシングルポールとし、停止後の再スタートは禁止します。
 - ④ ビブの回収はレース終了後ゴールエリア出口にて回収いたします。